

# 知的障害教育特別支援学校教員の専門性

総合教育センター授業づくり支援課特別支援班

【A(あてはまる、講師ができる)、B(大体あてはまる、日々の学習活動に生かしている)、C(不十分である)】

内 容	自己評価
<b>1 特別支援教育に関すること</b>	
① 知的障害児の発達と教育の役割について理解している	
② 自閉症について理解している	
③ 発達障害について理解し、特性に応じた支援方法が分かる	
④ 複数の障害（視覚障害、聴覚障害等）を併せ持つ場合についての知識を持ち、配慮事項が分かる	
⑤ てんかんや主な疾病に関する知識を持ち、対処法や健康管理が分かる	
⑥ 学習指導要領に基づいた教育課程を理解している	
⑦ 知的障害に基づく自立活動の指導について理解している	
⑧ カウンセリングや教育相談に関する知識・技術を持っている	
⑨ 職業教育、進路指導に関する知識・技術を持っている	
<b>2 子ども理解、指導計画の作成</b>	
① 心理検査に関する知識・技術を持ち、分析ができる	
② 実態把握（アセスメント）の方法が分かり、個々の障害の状態、認知・言語・運動等の発達や特性を的確に把握できる	
③ アセスメント結果を生かし、指導目標や手立ての立案ができる	
④ 個別の指導計画の意義が分かり、作成できる	
⑤ 個別の教育支援計画の意義が分かり、作成できる	
<b>3 授業力、実践的指導力</b>	
① 個別の指導計画に基づいた授業計画、授業展開、学習評価ができる	
② 個々の実態を踏まえた目標が設定できる	
③ 個々の目標を達成するために適切な手だてを講じることができる	
④ 生活に生きる力を育て、児童生徒が主体となる学習活動の展開ができる	
⑤ 認知、コミュニケーションの発達を理解し、必要とされる指導ができる	
⑥ 個々の実態に応じた適切な教材・教具や補助具等を活用できる	
⑦ 情報教育、コンピュータ等に関する知識・技術を持ち、活用できる	
⑧ TTによる役割分担を理解し、適切に連携協力ができる	
<b>4 保護者、地域・関係機関との連携</b>	
① センターの機能を理解している	
② 保護者の心理が分かり、連携・協力ができる	
③ 医療・福祉・就労機関等について知識を持ち、必要に応じて連携がとれる	